

男女共同参画に関する指数の国際比較 ～ジェンダー・ギャップ指数～

2016年10月、世界経済フォーラムが発表したジェンダーギャップ指数(GGI)によると、男女の格差が最も小さい国はアイスランドでした。調査対象国は144カ国で、ランキングの1位から4位までは北欧が占めています。

日本は111位で、前年より10位順位を下げています。統計項目部門別では、経済活動の参加と機会118位、教育76位、健康と生存40位、政治への関心103位と、前年と比べると、経済活動の参加と機会が大きく順位を下げています。このことは、日本の男女の所得の差が大

きいことや、管理職や国会議員に女性が少ないことが主に影響しています。また、世界経済フォーラムが収入の比較方法を改めたことで、男女の所得格差の評価が大きく下がったことも一つの原因と考えられています。

同様の理由で、アメリカも前年の28位から45位と順位を大きく下げています。

アジアに目を向けますと、フィリピンがアジア1位、世界7位となっています。インドは前年の100位から87位に上昇、中国は91位から99位と順位を下げ、韓国は116位という状況になっています。

2016年 ジェンダー・ギャップ指数

順位	国名	GGI値
1	アイスランド	0.874
2	フィンランド	0.845
3	ノルウェー	0.842
4	スウェーデン	0.815
5	ルワンダ	0.800
45	アメリカ	0.722
71	タイ	0.699
79	ブラジル	0.687
99	中国	0.676
111	日本	0.660

※世界経済フォーラム「グローバル・ジェンダー・ギャップ報告書」より

■デートDV予防講座

講師：志堅原郁子さん、山田さおりさん
(NPOピーチハウス ファシリテーター)
実施校：帯広柏葉高校、帯広緑陽高校、
帯広北高校、帯広三条高校



2016年度に実施した 男女共同参画事業のご紹介

■社会参画支援講座

- 11月15日「女性活躍推進法と女性のキャリア形成について」
講師：宮越泰子さん
(一般財団法人女性労働協会管理企画部長)
- 3月23日「企業における女性リーダー育成について」
講師：本間あづみさん
(本間社会保険労務士事務所代表)



■男女共同参画講座

- 6月24日「働く女性から見た男女共同参画」
講師：阿部好恵さん
(帯広大谷短期大学准教授)
- 8月25日「変わりゆく介護のカタチ」
～男性介護の現状と今後の課題について～
講師：大島康雄さん
(さっぽろ社会福祉士事務所代表)
- 11月17日「DV被害の中にいる女性と子どものためにできること」
講師：横山真澄さん
(十勝公立学校スクールカウンセラー・臨床心理士)
- 2月28日「人材活性化策としてのワーク・ライフ・バランス」
～育児・介護休業法はどう変わったか。その狙いは何か。どう活用するか。
講師：嶋谷耕治さん
(社会保険労務士・行政書士しまや事務所所長)



■男女共同参画セミナー

- 9月17日「子どもの笑顔が輝くまち」
～女と男のより良いパートナーシップから～
講師：大日向雅美さん
(恵泉女学園大学学長)

※カスタネット32号に掲載

男女共同参画に関する用語集

ジェンダー・ギャップ指数…Gender Gap Index (通称GGI)。国際団体「世界経済フォーラム」が毎年発表している指数。経済、政治、教育、健康の4分野で男女格差を数値化したもの。この値が1に近いほど、男女の格差が小さいことを示している。

クオータ制 (割当制)…人種や性別などを基準に、一定の人数や比率を割り当てる制度のこと。政治における男女平等を実現するために、国会議員の定数を一定の割合で両性に割り当てる制度として、北欧諸国などで法制化して実施されている。

M字カーブ (M字型就労)…日本における女性の労働力率を年齢階級別グラフで表すと、出産・育児期にあたる30歳代を谷とし、20歳代と40歳代が山となり、M字カーブを描いていることからM字型就労と呼ばれている。

■男女共同参画週間「パネル展」

期間：6月23日～6月29日

■女性に対する暴力をなくす運動「パネル展」

期間：11月12日～11月25日